

防災教育の充実を

日本防災士会と意見交換

愛知県
党議団

公明党愛知県議団のほど、特定非営利活動(木藤俊郎団長)はこ動法人(NPO法人)



「日本防災士会愛知県支部」(保坂松男代表)と懇談会を開催し、防災の在り方などについて意見交換を行った。

席上、保坂代表からは、愛知県の公明党議員が積極的に防災士の資格を取得し、防災力向上に真摯に取り組む姿勢を評価した上で、「スキルアップ研修などに参加し、防災の知識にとどまらず実践的な技術の習得を」と語った。

また、保坂代表らは「学校現場において生きた防災教育の充実を」と述べ、子どもたちが自分で考え行動できるような防災の意識啓発の必要性を訴えた。このほか、避難所運営に女性の視点を取り入れてほしいといった声が上がった。木藤団長は「現場の声をしっかりと受け止め、県政に反映させていきたい」と答え

6人